

StorageWorks by Compaq

3Uラックマウント型エンクロージャ リファレンス ガイド

製品番号: 232797-193

第2版 (2002年3月)

このガイドでは、*StorageWorks* 3Uラックマウント型エンクロージャ(筐体)のインストール手順について説明します。また、操作、トラブルシューティング、および将来必要となるアップグレードの手順についても説明します。

COMPAQ

© 2002 Compaq Information Technologies Group, L.P.

© 2002 コンパックコンピュータ株式会社

Compaq、Compaqロゴ、ProLiantおよびStorageWorksは、Compaq Information Technologies Group, L.P.の商標です。本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、そのままの状態を提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。コンパック製品に対する保証については、当該製品に付属の限定保証書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国内で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

StorageWorks by Compaq 3Uラックマウント型エンクロージャ リファレンス ガイド

第2版 (2002年3月)

製品番号: 232797-193

目次

このガイドについて

表記上の規則	v
本文中の記号	v
装置の記号	vi
ラックに関する注意	vii
コンパックのWebサイト	vii

1 はじめに

標準機能	1-2
サポートするSCSIコントローラ	1-2
ハードウェア オプション	1-2
ケーブル マネジメント システム	1-3
フロント パネルの各部	1-4
リア パネルの各部	1-4
内部コンポーネント	1-5

2 テープドライブのインストール

SCSI ID	2-1
テープドライブの取り付け	2-2
ケーブル構成	2-4
SCSIコネクタの取り付け	2-4

3 ラックへの設置

ラック マウント キット	3-1
ストレージ エンクロージャの設置	3-1

A 規定に関するご注意

規定準拠識別番号	A-1
各国別勧告	A-1
Federal Communications Commission Notice	A-2
Class A Equipment	A-2
Class B Equipment	A-2
Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo, United States Only	A-3
Modifications	A-3
Cables	A-3
Canadian Notice (Avis Canadien)	A-4
Class A Equipment	A-4
Class B Equipment	A-4
Mouse Compliance Statement	A-4
European Union Notice	A-4
Taiwanese Notice	A-5

B 静電気対策

アースの方法	B-1
--------------	-----

索引

このガイドについて

表記上の規則

このガイドでは、表1の表記規則を採用しています。

表1: 表記上の規則

項目	規則
キー名	太字で表記します
メニュー アイテム、ボタン名、 ダイアログ ボックス名	[]で囲んで表記します
ファイル名	イタリック体で表記します
ユーザ入力、コマンド名、システム応答 (出力およびメッセージ)	Monospaceフォントで表記します コマンド名は、大文字と小文字を区別しない 限り、すべて大文字で表記します
変数	イタリック体のMonospaceフォントで表記 します
Webサイト アドレス	Arialフォントで表記します (http://www.compaq.com/)

本文中の記号

本文中の以下の記号の意味を示します。



警告: その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがある警告事項を表します。



注意: その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがある注意事項を表します。

重要: 詳しい説明や具体的な手順を示します。

注: 解説、補足または役に立つ情報を示します。

装置の記号



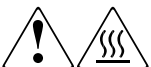
装置の表面または内部部品に触れると感電の危険があることを示します。カバー内には、一般のユーザが修理できる部品は入っていません。

警告: 感電を防止するために、このカバーを開けないようにしてください。



これらの記号が貼付されたRJ-45ソケットはネットワーク インタフェース接続用であることを示します。

警告: 感電、火災または装置の損傷を防止するために、電話または電気通信用のコネクタをこのソケットに接続しないようにしてください。



装置の表面または内部部品の温度が非常に高くなる可能性があることを示します。この表面に手を触れるとやけどをする場合があります。

警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、システムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



電源やシステムにこれらの記号が付いている場合、装置の電源が複数あることを示します。

警告: 感電しないように、電源コードをすべて抜き取ってシステムの電源を完全に切ってください。



左のマークの付いた製品および機器は、1人で安全に取り扱うことができる重量を超えていることを示しています。

警告: けがや装置の損傷を防ぐために、ご使用の地域で定められた重量のある装置の安全な取り扱いに関する規定に従ってください。

ラックに関する注意



警告: けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックの水平脚を床まで延ばしてください。
 - ラックの全重量が水平脚にかかるようにしてください。
 - 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
 - 複数のラックを設置する場合は、ラックを連結してください。
 - ラック コンポーネントは一度に1つずつ引き出してください。一度に複数のラック コンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。
-

コンパックのWebサイト

コンパックのWebサイトでは、最新のドライバに関する情報を提供しています。コンパックのWebサイト<http://www.compaq.com/storage/>(英語)にアクセスするには、インターネットにログオンする必要があります。このWebサイトから、適切な製品またはソリューションを選択してください。

1

はじめに

StorageWorks™ 3Uラックマウント型エンクロージャ (筐体) は、最大2台のフルハイットまたは最大4台のハーフハイットのテープドライブを収納できるラックマウント型ストレージシステムです。3Uラックマウント型ストレージエンクロージャは、IntelおよびAlphaServerプラットフォームと互換性があります。

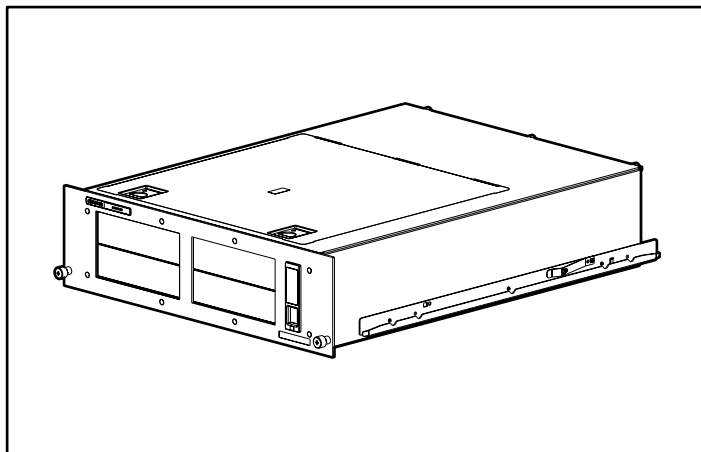


図1-1: StorageWorks 3Uラックマウント型エンクロージャ

標準機能

ストレージ エンクロージャの標準機能は、次のとおりです。

- 本体は3U形状で、2台のフルハイットまたは4台のハーフハイットのテープドライブ（またはフルハイットとハーフハイットのテープドライブの組み合わせ）をサポートします。
- トップ アクセス ドアおよびスライド式のドライブトレイにより、テープドライブへのアクセスとドライブの取り付けが簡単です。
- 最大2つのLVD/SE Wide SCSIデバイスをサポートする2つのSCSIコントローラインタフェース
- フロントパネルの電源インジケータ
- 3年間の部品保証
- 200Wのワイドレンジ入力パワー サプライ
- ケーブルマネジメント

サポートするSCSIコントローラ

現在サポートされているコントローラのリストについては、コンパックのWebサイト<http://www.compaq.com/storage/siteindex.htm>（英語）を参照してください。

ハードウェア オプション

現在サポートされているハードウェア オプション（テープドライブ、メディアなど）のリストについては、コンパックのWebサイト<http://www.compaq.com/storage/siteindex.htm>（英語）を参照してください。

ケーブル マネジメント システム

3Uラックマウント型エンクロージャには、ケーブル マネジメント システムが付属しています。このシステムは、メンテナンスの際に役立ちます。

次の図に、ケーブル マネジメント システムを使用して、システム ケーブルをストレージ エンクロージャの背面沿いに、ラックの接続ポイントまで配線する方法を示します。

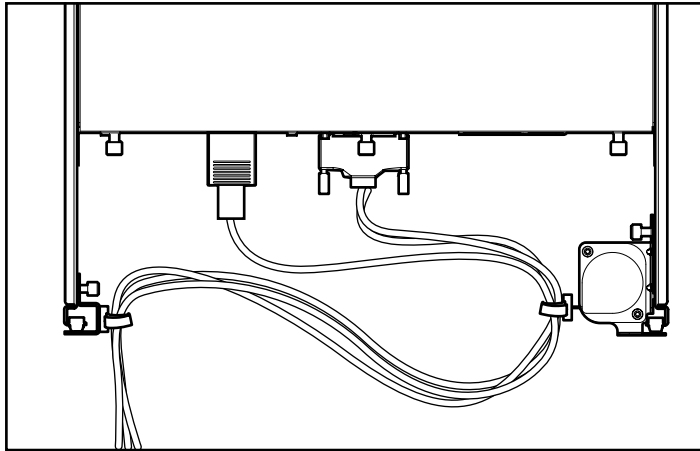


図1-2: エンクロージャの背面で配線されるケーブル

フロント パネルの各部

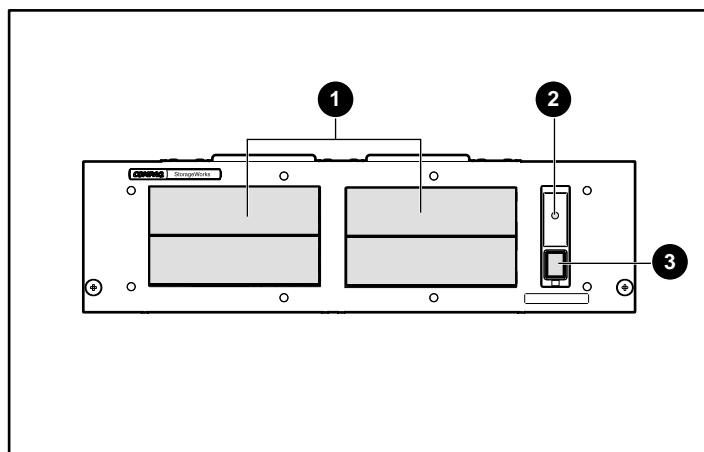


図1-3: ストレージ エンクロージャのフロント パネルの各部

- ① テープドライブベイ ② 電源インジケータLED ③ 電源スイッチ

リア パネルの各部

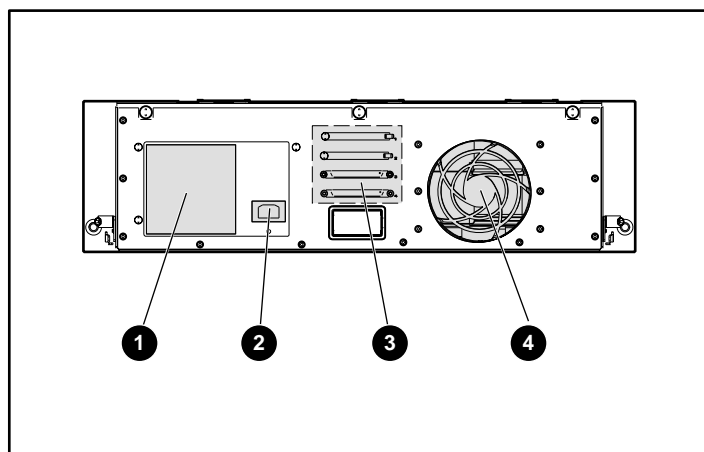


図1-4: ストレージ エンクロージャのリア パネルの各部

- ① パワー サプライ ③ LVD/SE Wide SCSIコネクタ
② 電源コネクタ ④ 冷却用ファン

内部コンポーネント

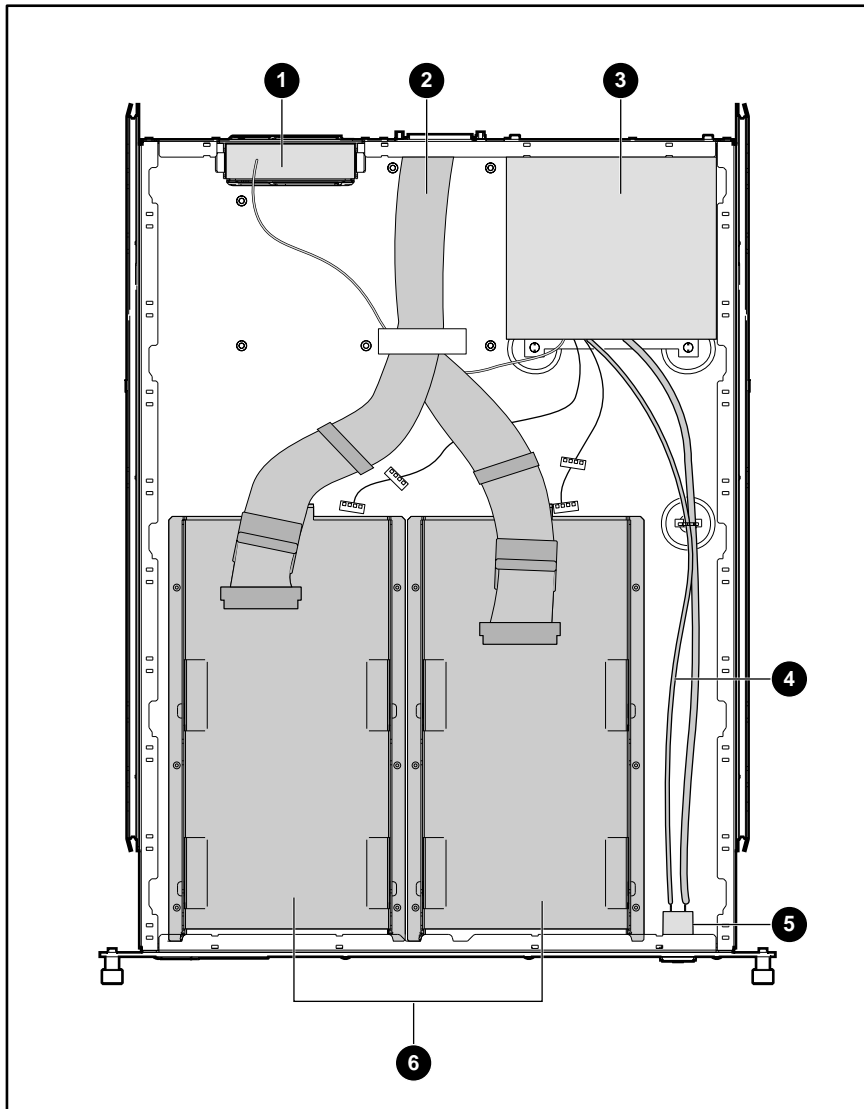


図1-5: ストレージ エンクロージャの内部コンポーネント

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| ① ファン アセンブリ | ④ 電源スイッチおよびLEDケーブル |
| ② 内部LVD/SE Wide SCSIケーブル (2) | ⑤ 電源スイッチ アセンブリ |
| ③ パワー サプライ | ⑥ スライド式ドライブトレイ (2) |

テープドライブのインストール

この章では、*StorageWorks* 3Uラックマウント型エンクロージャ（筐体）にテープドライブを取り付ける手順について説明します。この章の説明には、次の項目が含まれます。

- SCSI ID
- テープドライブの取り外しと取り付け
- ケーブル構成
- SCSIコネクタの取り付け

SCSI ID

各テープドライブのデフォルトSCSI IDは、ストレージエンクロージャで使用するケーブル構成によって異なります。SCSIケーブル当たり1台のテープドライブを使用する場合は、デフォルトは0です。SCSIケーブル当たり2台のテープドライブを使用する場合は、上側のテープドライブのデフォルトは1、下側のテープドライブのデフォルトは0です。

SCSI IDは、次の条件を満たすように設定してください。

- 同じSCSIバス上の各SCSIデバイスには、固有のSCSI IDを割り当てなければなりません。
- テープドライブのSCSI IDを割り当てなおさなければならない場合は、SCSI IDが重複しないようにしてください。
- SCSI ID 7は、コントローラ用に予約されているので、使用しないでください。

テープドライブのSCSI IDを設定または変更する手順については、テープドライブのマニュアルを参照してください。

テープドライブの取り付け

重要: 故障したテープドライブを返送する場合、スライド式ドライブトレイは決して返送しないでください。

テープドライブの取り外しおよび取り付けを行うには、以下の手順に従ってください。

1. ストレージ エンクロージャの電源を切ります。
2. エンクロージャのトップアクセス ドアを開けます。
3. つまみネジの横の輸送用ネジを、スライド式トレイから取り外します。
4. つまみネジを緩めます。
5. スライド式ドライブトレイをストレージ エンクロージャの背面側に押して①、トレイを取り外します。その後、トレイの正面側を持ち、トレイを斜めにして引き出します②。

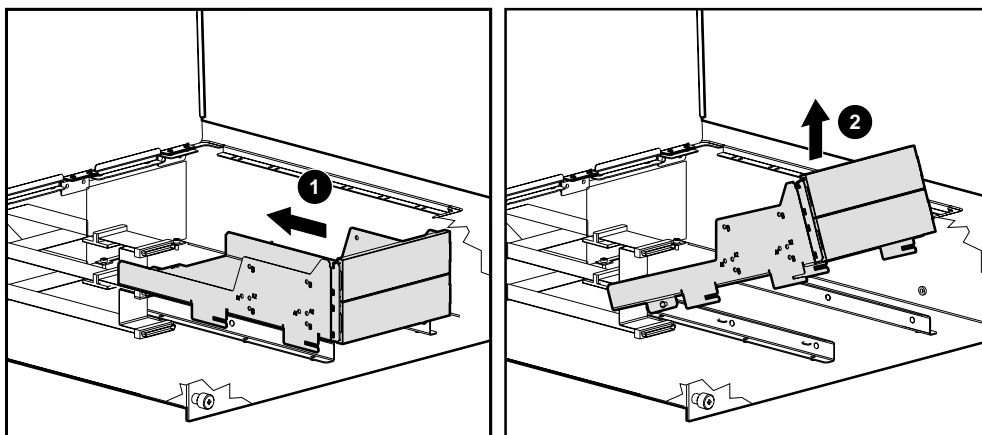


図2-1: 空きスライド式トレイを取り外す

6. ベゼルの中央を軽く押しながらベゼルの一方の端を引いて、ドライブ ブランクを取り外します。
7. テープドライブの位置をスライド式ドライブトレイに合わせるために、次の表を参照して、テープドライブの位置合わせ用の穴を確認します。詳しくは、フード ラベルを参照してください。

穴	テープドライブ
A1	DLT
A2	SDLTおよびDATオートローダー
B	DAT/AIT

8. テープドライブの位置を合わせ、固定用ネジを使用してテープドライブを固定します。
9. 取り付けるすべてのテープドライブについて、手順5~7を繰り返します。
10. スライド式ドライブトレイを斜めに持ってエンクロージャに挿入し、水平に置きます。その後、ドライブトレイをエンクロージャの正面側にスライドさせます。

注: 必ず、ドライブケースのカットアウトの位置を、エンクロージャのタブに合わせてください。

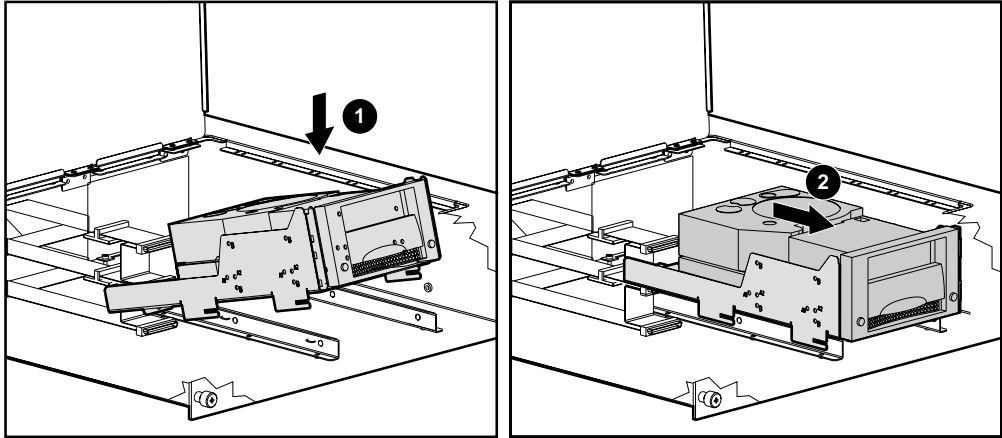


図2-2: スライド式ドライブトレイを取り付ける

11. つまみネジを締めて、テープドライブアセンブリを固定します。

注: 輸送用ネジを元に戻す必要はありません。

12. スライド式ドライブトレイを取り付けたら、SCSIコネクタとパワー サプライをテープドライブに接続します。

ケーブル構成

ケーブル構成は、3Uラックマウント型エンクロージャに取り付けるドライブによって異なります。ストレージエンクロージャに3台以上のテープドライブを取り付ける場合は、追加ケーブルキットと2つのSCSIポートが必要です。

次の表に、各テープドライブとそのドライブがサポートするケーブル構成を示します。

表2-1: SCSIケーブルの構成

テープドライブ	SCSIケーブルの構成
AIT	SCSIケーブル当たり最大2ドライブ
DAT	SCSIケーブル当たり最大2ドライブ
DLT	SCSIケーブル当たり1ドライブ
SDLT	SCSIケーブル当たり1ドライブ
DATオートローダー	SCSIケーブル当たり1オートローダー

SCSIコネクタの取り付け

3Uラックマウント型エンクロージャには、出荷時に、SCSIコネクタパネルに2本の内部LVD Wide SCSIケーブルが取り付けられています。ストレージエンクロージャには、最大2本のSCSIケーブルを追加することができます。

追加SCSIコネクタを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

1. リアパネルの3本つまみネジを緩めます①。
2. トップパネルを背面側にスライドさせ②、引いて取り外します③。

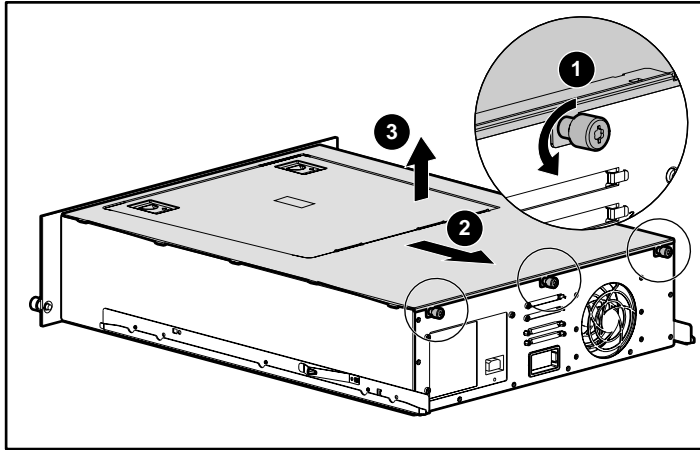


図2-3: トップパネルを取り外す

3. エンクロージャの外側にあるネジを取り外します④。
4. エンクロージャの内側から、ブランクパネルを取り外します⑤。

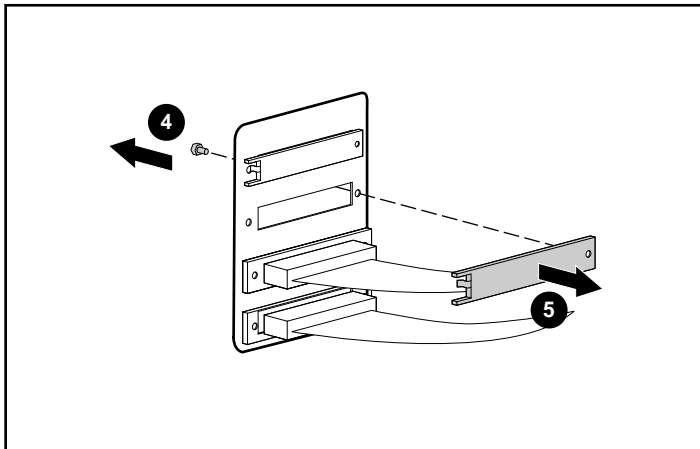


図2-4: 外側のネジと内側のブランクパネルを取り外す

5. 付属の2本の固定用ネジを使用して、内部SCSIケーブルをコネクタパネルに取り付けます。



注意: ナットドライバで固定用ネジを締めすぎると、固定用ネジが損傷する場合があります。ネジ山には戻り止め加工が施されているので、適度に締めるだけで十分です。

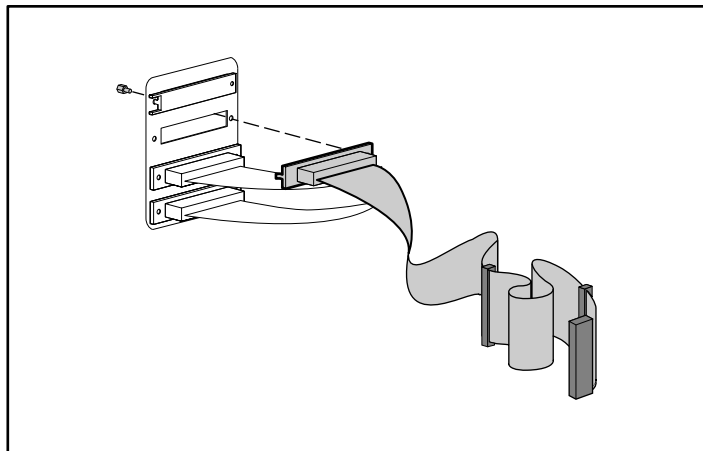


図2-5: 内部SCSIケーブルをコネクタパネルに取り付ける

ラックへの設置

ラック マウント キット

StorageWorks 3Uラックマウント型エンクロージャ(筐体)に付属のラック マウント キットの内容は、次のとおりです。

- テンプレート。ラックの、ラック マウンティング ブラケットを取り付ける位置に印を付けるために使用します。
- ケーブル マネジメント システム。ケーブル リールとケーブル ラック ブラケットで構成されます。

注: ケーブル マネジメント システムを取り付けるには、#2プラス ドライバが必要です。また、ラックに付属の2本のM6×1.0-12Lプラス ネジを使用します。

- スプリング式レール (1対)

注: AlphaServer用の「丸い穴」のラックを使用する場合は、オプションのインストレーション キットを入手する必要があります。製品番号および他のオプションについては、コンパクのWebサイト<http://www.compaq.com/storage/siteindex.htm> (英語)にあるQuickSpecsを参照してください。

ストレージ エンクロージャの設置



警告: けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- 水平脚を床まで延ばしてください。
 - ラックの全重量が水平脚にかかるようにしてください。
 - 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
 - 複数のラックを設置する場合は、ラックを連結してください。
 - コンポーネントは一度に1つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。
-

エンクロージャをラックに設置するには、以下の手順に従ってください。

- 必ず、ラックの一番下または先に設置したコンポーネントのすぐ上から作業を開始して、下から上に順に設置してください。
 - 必ず、ラック マウンティング レールの前部と後部が水平になるようにしてください。
 - 作業を開始する前に鉛筆を用意してください。
1. テンプレートをラックの正面側に取り付けます。
 2. スプリング式ラック レールのフロント タブを取り付ける穴の位置に印を付けます。また、次の設置の際に役立つように、テンプレートの上端と下端の位置にも印を付けます。

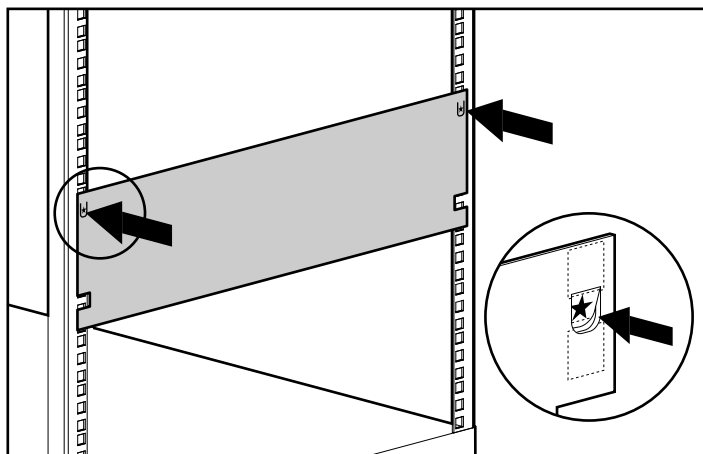
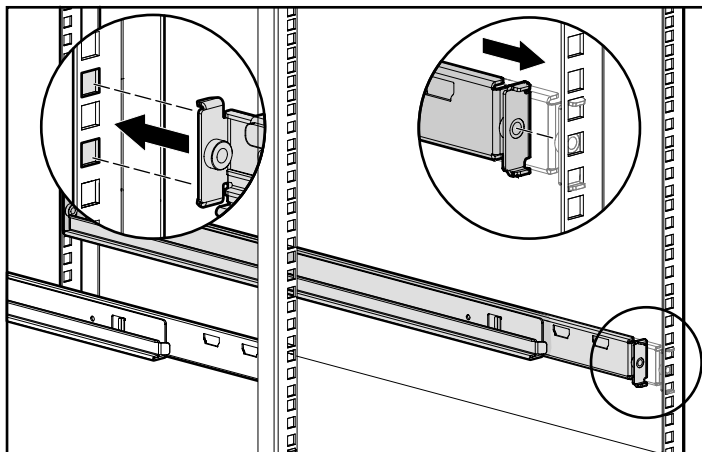


図3-1: テンプレートを使用して測定する

3. ラックの背面側で、手順1および2を繰り返します。

4. ラックの背面側で、スプリング式ラック レールのフロント タブを適切な穴に挿入します。
5. スプリング式ラック レールを正面方向に延ばして、レールのリア タブを適切な穴に挿入します。レールは、しっかりと固定されます。



**図3-2: スプリング式ラック レールの位置を合わせて挿入する
(背面側から見た図)**

6. 2本目のスプリング式ラック レールについて、手順4および5を繰り返します。

7. ラックの背面側で、ケーブルリールを右側のスプリング式ラック レールの穴に合わせ、1本のM6×1.0-12Lプラス ネジを使用して固定します。

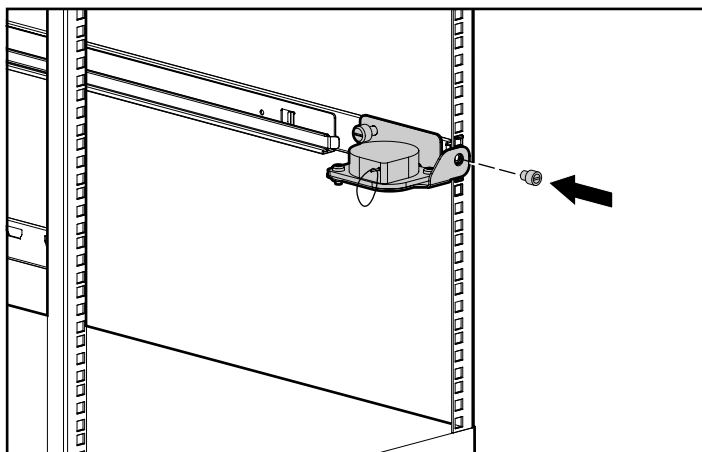


図3-3: ケーブル マネジメント リールを取り付ける

8. つまみネジをスプリング式ラック レールに挿入して締めます。
9. ラックの背面側で、ケーブルラック ブラケットをスプリング式ラック レールの穴に合わせ、1本のM6×1.0-12Lプラス ネジを使用して固定します。

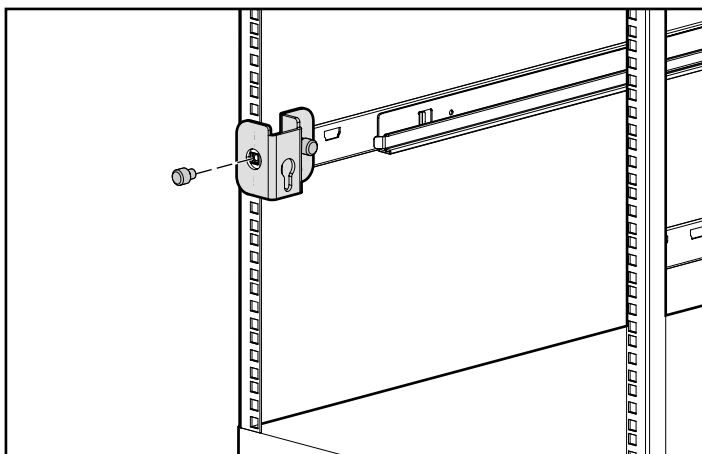


図3-4: ケーブル ラック ブラケットを取り付ける

- つまみネジをスプリング式ラック レールに挿入して締めます。
- ストレージ エンクロージャ レールの背面側をスプリング式ラック レールの前端に合わせて、エンクロージャをラックに完全に押し込み、フロント パネルのつまみネジを締めます。



注意: ストレージ エンクロージャをスプリング式ラック レールにはめ込んでスライドさせる場合、必ず、コンポーネントが床と平行になるようにしてください。コンポーネントを上または下に傾けると、レールが壊れる場合があります。

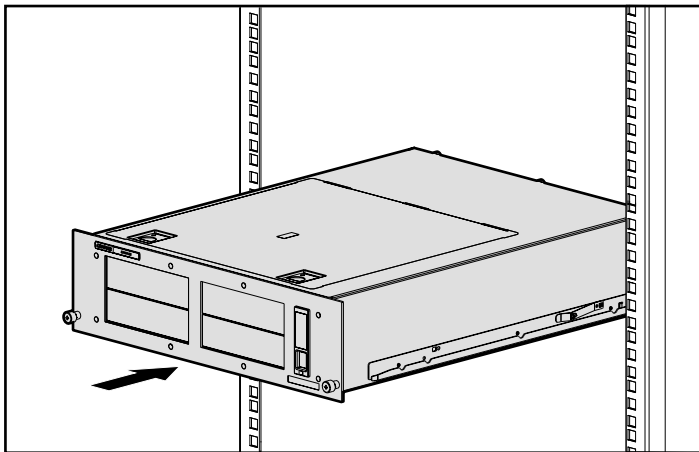


図3-5: エンクロージャをラックに挿入する

- SCSIコントローラから本体背面のSCSIコネクタに外部SCSIケーブルを接続します。
- システムの各SCSIコントローラについて、手順12を繰り返します。
- AC電源コードを電源コード コネクタに接続します。

15. システムのケーブルをケーブルリールに配線して、マジックテープで固定します。
16. システムのケーブルをケーブルラック ブラケットに配線して、マジックテープで固定します。

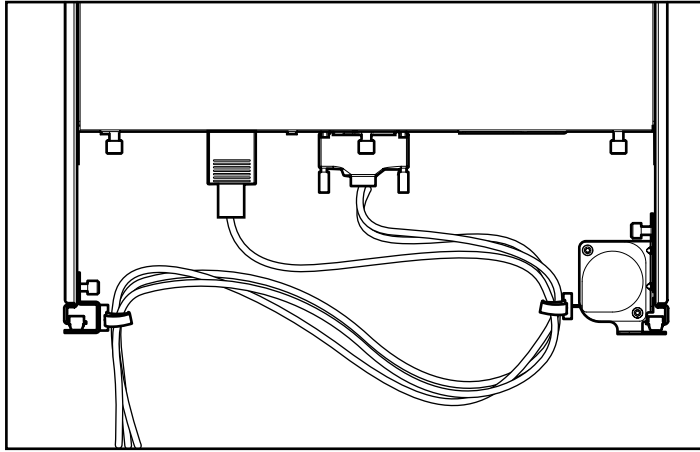


図3-6: ケーブル マネジメント アセンブリを使用して配線されたケーブル

規定に関するご注意

ご使用になっている装置にVCCIマークが付いていましたら、次の説明文をお読みください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCIマークが付いていない場合には、次の点にご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

規定準拠識別番号

規定に準拠していることの証明と識別のために、ご使用の製品には、コンパック固有のシリーズ番号が割り当てられています。このシリーズ番号は、必要な認可マークおよび情報とともに製品銘板ラベルに印刷されています。この製品の認可情報を請求する場合は、必ず、このシリーズ番号を参照してください。このシリーズ番号を、製品の製品名またはモデル番号と混同しないでください。

各国別勧告

以下に日本以外の国や地域での規定を掲載します。

Federal Communications Commission Notice

Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) Rules and Regulations has established Radio Frequency (RF) emission limits to provide an interference-free radio frequency spectrum. Many electronic devices, including computers, generate RF energy incidental to their intended function and are, therefore, covered by these rules. These rules place computers and related peripheral devices into two classes, A and B, depending upon their intended installation. Class A devices are those that may reasonably be expected to be installed in a business or commercial environment. Class B devices are those that may reasonably be expected to be installed in a residential environment (for example, personal computers). The FCC requires devices in both classes to bear a label indicating the interference potential of the device as well as additional operating instructions for the user.

The rating label on the device shows the classification (A or B) of the equipment. Class B devices have an FCC logo or FCC ID on the label. Class A devices do not have an FCC logo or FCC ID on the label. After the Class of the device is determined, refer to the corresponding statement in the following sections.

Class A Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at personal expense.

Class B Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna
- Increase the separation between the equipment and receiver
- Connect the equipment into an outlet on a circuit that is different from that to which the receiver is connected
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help

Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo, United States Only

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding your product, contact us by mail or telephone:

- Compaq Computer Corporation
P. O. Box 692000, Mail Stop 530113
Houston, Texas 77269-2000
- 1-800-652-6672 (1-800-OK COMPAQ)
(For continuous quality improvement, calls may be recorded or monitored.)

For questions regarding this FCC declaration, contact us by mail or telephone:

- Compaq Computer Corporation
P. O. Box 692000, Mail Stop 510101
Houston, Texas 77269-2000
- (1) 281-514-3333

To identify this product, refer to the part, series, or model number found on the product.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Compaq Computer Corporation may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods in order to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Canadian Notice (Avis Canadien)

Class A Equipment

This Class A digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations

Cet appareil numérique de la classe A respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Class B Equipment

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Mouse Compliance Statement

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation

European Union Notice

Products with the CE Marking comply with both the EMC Directive (89/336/EEC) and the Low Voltage Directive (73/23/EEC) issued by the Commission of the European Community.

Compliance with these directives implies conformity to the following European Norms (the equivalent international standards are in parenthesis):

- EN55022 (CISPR 22) - Electromagnetic Interference
- EN55024 (IEC61000-4-2, 3, 4, 5, 6, 8, 11) - Electromagnetic Immunity
- EN61000-3-2 (IEC61000-3-2) - Power Line Harmonics
- EN61000-3-3 (IEC61000-3-3) - Power Line Flicker
- EN60950 (IEC950) - Product Safety

Taiwanese Notice

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

静電気対策

人体などの導電体からの静電気放電によって、システム ボードなどのデバイスが損傷したり、耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷を防ぐには、以下のことを守ってください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごと、アースされている面に置きます。
- ピン、リード線、回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、つねに自分の身体に対して適切なアースを行います。

アースの方法

アースを取る方法はいくつかあります。静電気に敏感な部品を取り扱うときは、以下の方法でアースを行ってください。

- 静電気放電用のアース バンドを手首に巻き、アースしているコンピュータ本体に接続します。アース バンドは柔軟な帯状のもので、アース コードは、少なくとも1M ($\pm 10\%$) の抵抗のものを使用します。正しくアースされるよう、アース バンドは手首にしっかりと巻き付けてください。
- 据置型のコンピュータを扱うときは、かかとやつま先にアース バンドを巻きます。導電性の、または摩擦による静電気が起こりやすい床で作業するときは、両足にアース バンドを巻いてください。
- 工具は導電性のものを使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットなどの入った携帯式作業用具もあります。

上記のような用具が入手できないときは、コンパック製品販売店またはコンパックのサービス窓口にお問い合わせください。

注: 静電気の詳細および製品のインストールの支援については、コンパック製品販売店にお問い合わせください。

索引

A

AlphaServer
ラック、使用 3-1

C

Cables A-3
Canadian Notice (Avis Canadien) A-4
Class A Equipment A-2、A-4
Class B Equipment A-2、A-4

E

European Union Notice A-4

F

Federal Communications Commission Notice A-2

L

LED、電源インジケータ 1-4
LVD
コネクタ 1-4

M

Modifications A-3
Mouse Compliance Statement A-4

S

SCSI 1-2
ID、設定 2-1
コネクタ 1-4
コネクタ、取り付け 2-4
サポートされているコントローラ 1-2

T

Taiwanese Notice A-5

W

Webサイト アドレス、表記上の規則 v

あ

アースの方法 B-1

え

エンクロージャ 1-1
標準機能 1-2
ラックへの設置 3-1

か

感電、装置の記号 vi

き

キー、表記上の規則 v
記号

装置 vi
本文中 v

規定準拠識別番号 A-1

規定に関するご注意

コンパクト固有のシリーズ番号 A-1

機能 1-2

け

警告

感電、装置の記号 vi

装置の電源が複数あること、装置の記号 vi
装置の表面または内部部品の温度、装置の
記号 vi

ネットワーク インタフェース接続、装置の
記号 vi

本文中の記号 v

ラックに関する注意 vii

ケーブル

- 構成 2-4
- 内部 1-5
- 配線 1-3、3-6
- マネジメントシステム 1-3
- ラック ブラケット、取り付け 3-4
- ルール、取り付け 3-4

こ

- 互換性 1-1
- コマンド名、表記上の規則 v
- コンパック固有のシリーズ番号 A-1
- コンパックのWebサイト vii

し

- システム応答、表記上の規則 v
- 収納 1-1
- 重要、本文中の記号 v
- シリーズ番号
 - 規定準拠識別番号 A-1

す

- スライド式ドライブ トレイ
 - 取り付け 2-3
 - 取り外し 2-2

せ

- 静電気対策 B-1

そ

- 装置の記号 vi
- 装置の電源が複数あること、装置の記号 vi
- 装置の表面または内部部品の温度、装置の記号 vi

た

- ダイアログ ボックス名、表記上の規則 v

ち

- 注意、本文中の記号 v
- 注、本文中の記号 vi

て

- テープドライブ
 - 位置合わせ 2-2
 - 取り付け 2-1
 - ベイ 1-4

電源

- コネクタ 1-4
- スイッチ 1-4
- スイッチ アセンブリ 1-5
- 電源インジケータ
 - LED 1-4
- テンプレート、使用 3-2

と

- トップパネル、取り外し 2-5
- ドライブ
 - スライド式、トレイ 1-5
- ドライブ ブランク
 - 取り外し 2-2

な

- 内部コンポーネント 1-5

ね

- ネットワーク インタフェース接続、装置の記号 vi

は

- パワー サプライ 1-4
- パワー サプライ、内部 1-5

ひ

- 表記上の規則
 - Webサイト アドレス v
 - キー v
 - コマンド名 v
 - システム応答 v
 - ダイアログ ボックス名 v
 - ファイル名 v
 - 変数 v
 - ボタン名 v
 - メニュー アイテム v
 - ユーザ入力 v

ふ

- ファイル名、表記上の規則 v
- ファン 1-4
- ファン アセンブリ 1-5
- フロント パネルの各部 1-4

へ

変数、表記上の規則 v

ほ

ボタン名、表記上の規則 v

本文中の記号 v

め

メニュー

アイテム、表記上の規則 v

ゆ

ユーザ入力、表記上の規則 v

ら

ラックに関する注意、警告 vii

り

リアパネルの各部 1-4

れ

ルール、取り付け 3-3